

■ 赤ペンPDF

USER MANUAL

赤ペンPDF ユーザーマニュアル

全機能の使い方と、それぞれのユースケースを網羅した完全ガイド。

対象バージョン：v1.1.2 対応OS：Windows / macOS

目次

01 ファイル操作

ファイルを開く / 非破壊保存 / 未保存の確認 / 再開する / PDFエク
スポート / ライセンス登録

02 表示・ナビゲーション

PDF表示 / ページ移動 / シークバー / ズーム・パン / テキスト検索

03 描画・注釈ツール

選択 / ペン / マーカー / テキスト / 図形 / カラー・太さ / 削
除

04 注釈管理

Undo / Redo / 表示・非表示 / ロック

05 セキュリティ・信頼性

非破壊の仕組み / 改ざん検知 / ライセンス検証 / セキュリティ機構

06 操作性・設定

ショートカット / トースト通知 / アプリ設定

07 ライセンス・料金

料金プラン

08 困ったときは

トラブルシューティング / 今後追加予定の機能

OVERVIEW

赤ペンPDFとは

赤ペンPDFは、PDFファイルそのものを一切改変せず、注釈情報だけを別ファイル（.akpdf）に重ねて保存する「非破壊注釈」方式のデスクトップアプリです。

教育・士業・設計・医療など、原本の信頼性が重視される業界に向けて開発されており、ペン・マーカー・テキスト・図形など8種類の描画ツール、SHA-256による改ざん検知、Ed25519によるオフラインライセンス認証を備えています。

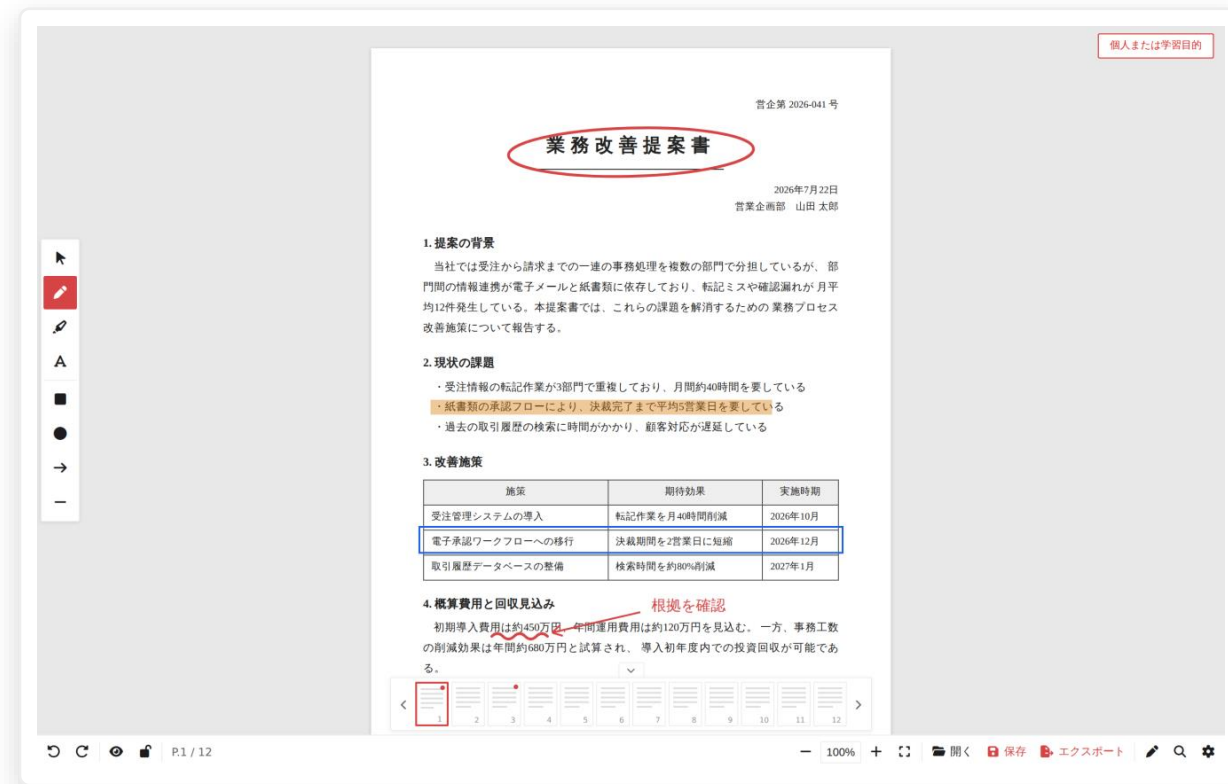
本マニュアルでは、画面の各パーツから全ての機能まで、ユーザーを交えて詳しく説明します。

非破壊注釈 PDF原本は一切書き換えない

完全オフライン ライセンス認証も含め通信なし

描画ツール8種 選択・ペン・マーカー・テキスト・矩形・円・矢印・直線

対応OS Windows 10以上・macOS 12以上（Apple Silicon）



メインビューア画面（サンプル文書に注釈を入れた状態）

どんな人の、どんな悩みを解決するか

機能を見る前に、赤ペンPDFが「誰の」「どんな悩み」のために作られたかを押さえておきましょう。

教育関係者

「答案にたくさん書き込みたいけど、紙は紛失も怖いし、みんなで共有しづらい…」

→ 赤ペンで自由に添削、データのまま共有・保管できる

士業関係者（弁護士・税理士など）

「契約書に注記したいが、原本を少しでも改変すると証拠能力に関わる気がして踏み切れない…」

→ 原本は一切書き換えない非破壊注釈だから安心

設計・建築関係者

「図面に指摘を入れただけなのに、わざわざ印刷して手書きするのは二度手間…」

→ 画面上でそのまま矢印・矩形を使って指摘できる

医療関係者

「クラウド型ツールは院内規定でNG。でも高機能なオフラインツールは高くて手が出ない…」

→ 完全オフラインで動作、個人・学習目的は無料

一般ビジネスパーソン

「取引先から届いたPDFに赤入れして返したいけど、会社にAcrobatが無い…」

→ 無料でダウンロードして、その日からすぐ使える

出版・品質管理など

「校正や検査の記録を電子化したいが、原本を改ざんしていないと証明する手段が欲しい…」

→ SHA-256で改ざんも自動的に検知できる

画面の基本構成

操作の大部分は、この6つのパーツから行います。まず全体像を把握しましょう。



- ① ツールバー（左）**
描画ツールの切り替え（8種類）
- ② ステータスバー（下）**
Undo/Redo・開く・保存・エクスポート・ズームなど主要操作
- ③ サムネイルシークバー（下中央）**
ページ一覧の表示とジャンプ
- ④ ライセンスバナー（右上）**
無料版でのみ表示される
- ⑤ 注釈キャンバス**
PDFの上に重なる透明な描画レイヤー
- ⑥ ペン設定ドロワー（右・非表示可）**
色や太さを設定するパネル

■ 01 — SECTION

ファイル操作

PDFを開く・保存する・書き出す。すべての作業はここから始まります。

ファイルを開く

こんな時に使う

PDFファイルを選んで注釈を書き始めたいとき。好きな方法で、迷わず開けます。

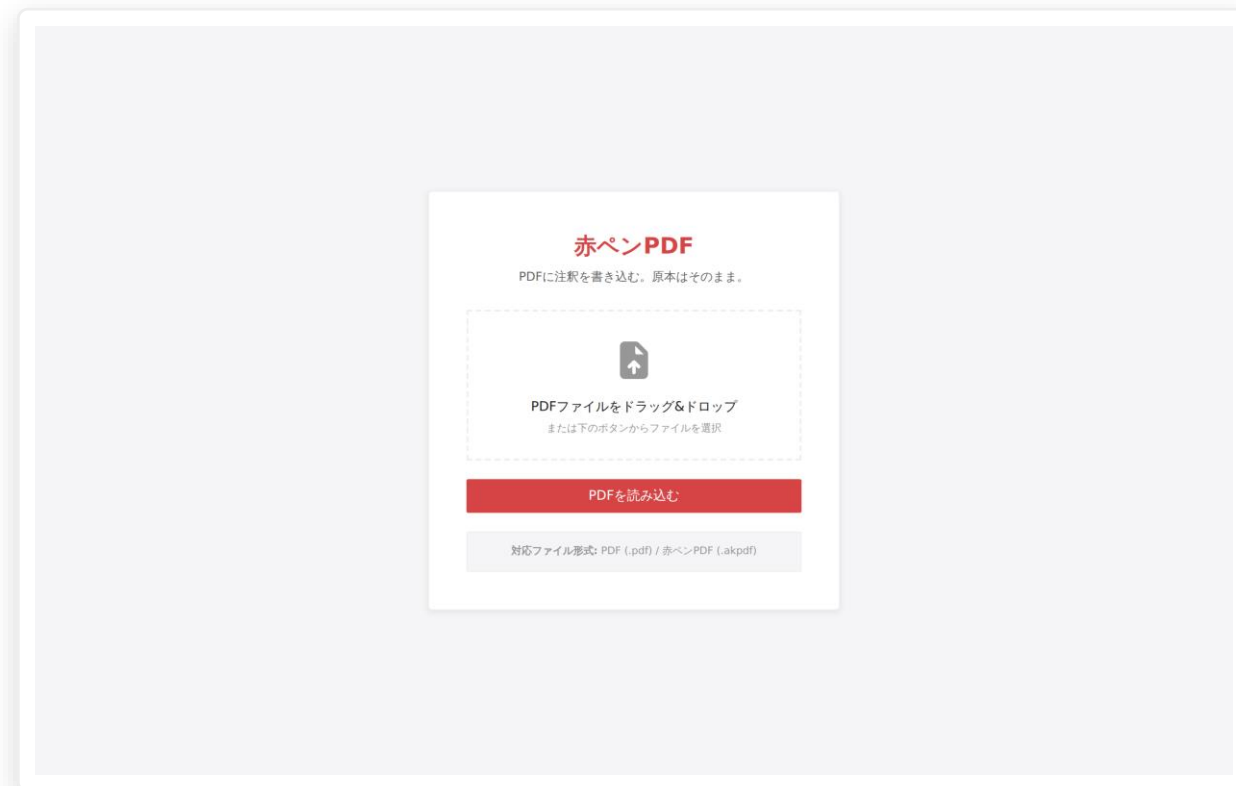
こんな悩みに

「ファイルを開くたびに何度もクリックするのが面倒」という悩みに。ドロップするだけで即座に開けます。

使い方

- 1 「PDFを読み込む」ボタン、またはPDF / .akpdf をドラッグ&ドロップ
- 2 ファイルのダブルクリック（関連付け）やコマンドライン起動にも対応
- 3 アプリ表示中でも、ステータスバーの「開く」ボタンから別のファイルに切り替えられる

対応形式：PDF (.pdf) / 赤ペンPDF (.akpdf)



読み込み画面（アプリ起動時・PDF未選択時に表示）

非破壊保存（.akpdf形式）



保存すると画面右上にトースト通知が表示される

こんな時に使う

描き込んだ注釈を保存して、後日また続きから編集したいとき。

こんな悩みに

「保存したら原本のPDFが上書きされないか」という不安に。常に別ファイルへ保存するので原本は無傷です。

使い方

- 1 Ctrl+S、またはステータスバーの保存ボタンをクリック
- 2 注釈データが「.akpdf」として元のPDFと同じフォルダに保存される
- 3 保存完了はトースト通知「保存しました」で確認できる

ファイル名は「文書名.pdf」→「文書名.akpdf」に自動変換されます

未保存の変更を確認する

こんな時に使う

保存し忘れたまま、うっかり別のファイルを開いたりアプリを閉じたりしそうになったとき。

こんな悩みに

「保存を忘れて注釈が消えた」という事故を防ぎたいという悩みに。閉じる前に必ず一声かけてくれます。

使い方

- 1 未保存のままウィンドウを閉じようとする時確認ダイアログが表示される
- 2 未保存のまま別のファイルを開こうとした場合も同様に確認される
- 3 OS標準のダイアログで「保存せずに終了 / 開く」か「キャンセル」かを選べる

ダイアログはOS標準機能（Tauri の `ask()`）で表示されます



保存ボタン（未保存の変更があるかはここから保存して確認できる）

保存済みファイルを再開する



.akpdf ファイルも同じ読み込み画面から開ける

こんな時に使う

中断していた注釈編集を、前回の続きから再開したいとき。

こんな悩みに

「作業を中断したら注釈が消えるのでは」という不安に。.akpdfを開けば全ページの注釈がそのまま復元されます。

使い方

- 1 保存済みの .akpdf ファイルを開く（読み込み画面、または「開く」ボタンから）
- 2 同じフォルダにある対応PDFが自動的に読み込まれる
- 3 ページごとの注釈がすべて復元された状態で表示される

対応するPDFが見つからない場合はエラーになります。.akpdfと元PDFは同じフォルダに置いてください

PDFエクスポート（注釈を合成して出力）

こんな時に使う

赤ペンPDFを持っていない相手にも、注釈付きの内容をそのまま見せたいとき。

こんな悩みに

「注釈が相手の環境で正しく表示されるか分からない」という悩みに。ふつうのPDFとして書き出せます。

使い方

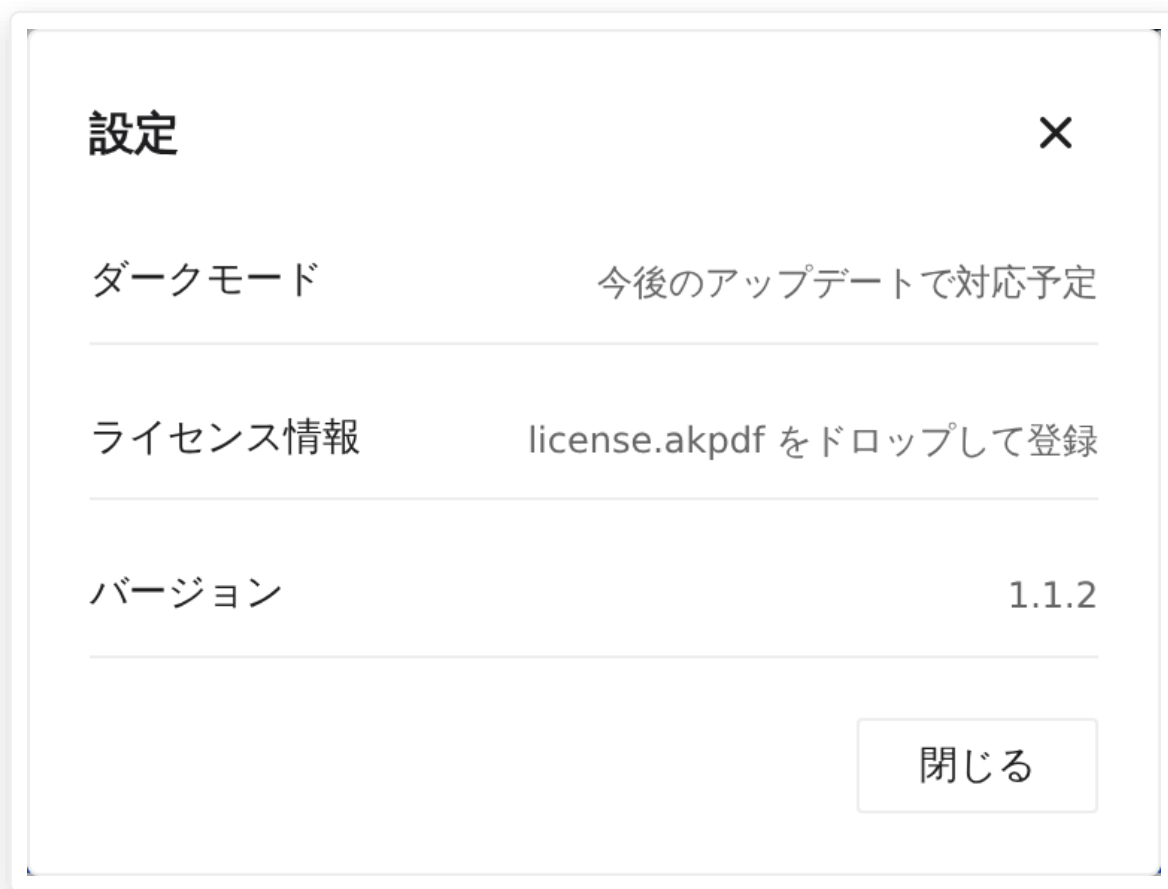
- 1 ステータスバーの「エクスポート」ボタンをクリック
- 2 保存先を指定する（OS標準の保存ダイアログ）
- 3 注釈を原寸の2倍解像度で画像化し、Rustバックエンドでページに合成

出力PDFには全ページが含まれます（注釈のないページはそのまま出力）。ページ範囲の指定は今後実装予定



エクスポート処理中はローディング表示が出る

ライセンスファイルを登録する



アプリ設定ダイアログの「ライセンス情報」欄

こんな時に使う

商用利用のためにライセンスファイル (license.akpdf) を有効化したいとき。

こんな悩みに

「ライセンス認証にネット接続が必要では」という懸念に。登録も検証もすべてオフラインで完結します。

使い方

- 1 アプリ設定ダイアログを開く（またはウィンドウにドラッグ&ドロップ）
- 2 license.akpdf ファイルを登録する
- 3 「ライセンスを登録しました」のトースト表示後、画面が再読み込みされバナーが消える

ライセンス未登録でも全機能が利用可能です（「個人または学習目的」バナーが表示されるのみ）

■ 02 — SECTION

表示・ナビゲーション

PDFを正確に表示し、目的のページへ素早くたどり着くための機能。

PDF表示

こんな時に使う

PDFを開いて、書き込む前にまず内容を正確に確認したいとき。

こんな悩みに

「表示が崩れて読みにくい」という不満に。PDF.jsで原本どおり正確にレンダリングします。

使い方

- 1 PDFを開くとページが画面中央に自動表示される
- 2 ページサイズに応じて注釈キャンバスのサイズも自動調整
- 3 テキスト・画像・図表もPDF本来の見た目のまま表示される

PDFのテキストコピーや目次（しおり）表示には対応していません



PDF.js によるページ単位のレンダリング

ページナビゲーション



ステータスバー中央のページインジケータ

こんな時に使う

複数ページのPDFで、注釈を入りたい特定のページへ素早く移動したいとき。

こんな悩みに

「今どのページを見ているか分かりにくい」という悩みに。常に「P.X / Y」で現在地を表示。

使い方

- 1 ステータスバー中央のページ表示をクリックする
- 2 入力欄に切り替わるのでページ番号を入力する
- 3 PageUp / PageDown キーで前後のページへ移動することもできる

画面中央の前後ページ専用ボタンはありません。移動はページ番号指定・PageUp/PageDown・シークバー・検索結果から行います

サムネイルシークバー

こんな時に使う

多ページのPDFで、サムネイルを見ながら目的のページを探したいとき。

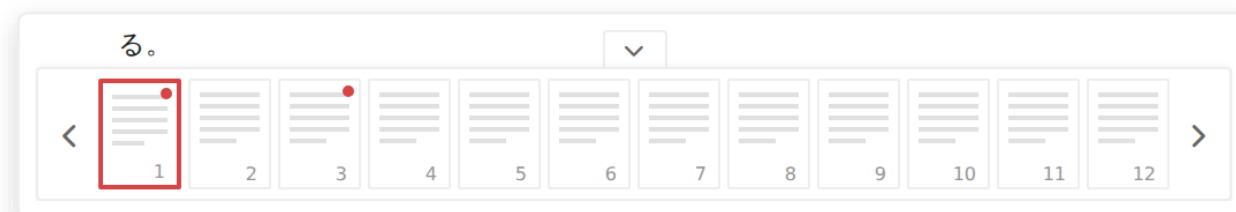
こんな悩みに

「ページ番号だけでは目的の場所が分からない」という悩みに。見た目で選んでジャンプできます。

使い方

- 1 画面下中央のシークバーでページ一覧を確認する
- 2 サムネイルをクリックすると該当ページへ直接ジャンプ
- 3 トグルボタンでシークバー自体の表示/非表示を切替

左右ボタンやマウスホイールでサムネイル一覧を横スクロールできます



注釈のあるページには赤いドットが表示される

ズーム・パン操作



ズーム操作パネル（－／倍率／＋／幅フィット）

こんな時に使う

細部に注釈を入れるときは拡大、全体を確認するときは縮小したいとき。

こんな悩みに

「拡大すると見たい場所まで動かしづらい」という悩みに。ズームとパンを自在に組み合わせられます。

使い方

- 1 Ctrl + マウスホイールで拡大・縮小する（10%～500%）
- 2 －／＋ボタンや倍率の直接入力でも調整できる
- 3 マウスホイールや中・右ボタンドラッグで表示位置を移動（パン）

「幅フィット」ボタンで画面幅に合わせた表示倍率に自動調整できます

PDF内テキスト検索

こんな時に使う

長いPDFの中から、注釈を入りたい箇所を素早く見つけたいとき。

こんな悩みに

「目視でページをめくって探すのは非効率」という悩みに。
キーワードで該当ページへ一発ジャンプ。

使い方

- 1 ステータスバーの検索アイコンをクリックしてパネルを開く
- 2 キーワードを入力する（入力後400msで自動検索）
- 3 ▲▼ボタンやEnterキーで一致したページ間を循環移動

現在はページ単位での一致検出です。ページ内の一致箇所ハイライト表示は今後実装予定



検索パネル（例：「1 / 3 ページ・全5件」 = 1件目/一致3ページ中・総一致5件）

■ 03 — SECTION

描画・注釈ツール

ペン・マーカー・テキスト・図形など、赤ペンPDFの中核となる8つの描画ツール。

選択ツール

こんな時に使う

描いた注釈の位置を微調整したり、サイズや向きを変えたいとき。

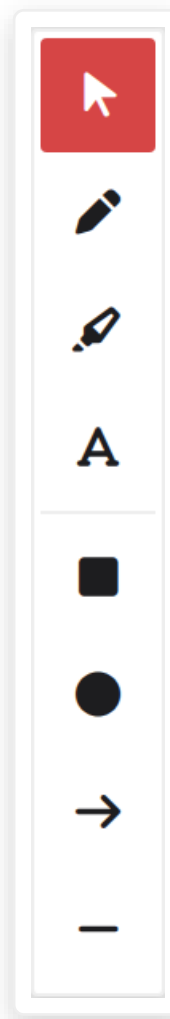
こんな悩みに

「気に入らないところだけ描き直すのが手間」という悩みに。選択して動かすだけで整えられます。

使い方

- 1 ツールバーの矢印アイコン（選択）をクリックする
- 2 注釈オブジェクトをクリックして選択する
- 3 ドラッグで移動、ハンドルをドラッグしてサイズ変更・回転

注釈の削除も選択ツールから行います（詳しくは本セクション最後のページ）



選択ツールがアクティブな状態のツールバー

ペンツール



ペンツール選択時のペン設定ドロワー

こんな時に使う

紙に赤ペンで書き込むように、自由な線でコメントや下線を入れたいとき。

こんな悩みに

「手書きの温かみを残したい」というニーズに。マウス・タッチ・ペンタブレットで自然な描き心地。

使い方

- 1 ツールバーのペンアイコンを選択する
- 2 そのままドラッグして自由に描画する
- 3 色・太さは右のペン設定ドロワーで調整できる

初期設定は赤（#D64545）・太さ3px。太さは1～30pxの範囲で調整できます

マーカーツール

こんな時に使う

紙に蛍光ペンで線を引くように、重要な箇所を目立たせたいとき。

こんな悩みに

「強調したいが線で文字が隠れる」という悩みに。半透明描画で下の文字が透けて見えます。

使い方

- 1 ツールバーのマーカーアイコンを選択する
- 2 強調したい箇所をドラッグする
- 3 不透明度40%で自動描画される（下のPDF内容が透けて見える）

実際の描画の太さは設定値の3倍（最低10px）で描かれます



マーカーツールのドロワー（色・太さ設定は共通操作）

テキストツール



ツール設定ドロワー（テキスト選択時は「フォントサイズ」表示に切替）

こんな時に使う

手書きでは読み取りにくい、長めのコメントや指示をはっきり伝えたいとき。

こんな悩みに

「手書き文字だと相手が読み取れない」という悩みに。文字ならどんな内容も正確に伝わります。

使い方

- 1 ツールバーのテキストアイコンを選択する
- 2 配置したい位置をクリックし、その場で入力を開始する
- 3 選択ツールでいつでも再編集・移動できる（フォントサイズ8～72px）

配置したテキストは選択ツールで再選択すると、その場で編集し直せます

図形ツール（矩形・円・矢印・直線）

こんな時に使う

指摘箇所を囲んだり、矢印で指し示したりと、正確な形状で伝えたいとき。

こんな悩みに

「フリーハンドだと形が歪んでしまう」という悩みに。ドラッグするだけできれいな図形が引けます。

使い方

- 1 ツールバーから矩形・円・矢印・直線のいずれかを選ぶ
- 2 ドラッグして描画する（円は始点と終点の midpoint を中心とする真円）
- 3 線の色・太さはペン設定ドロワーで調整できる

矢印は直線に矢頭パスを追加して描画されます



サンプル：矩形で表の行を囲み、矢印とテキストで補足した例

カラー・太さの設定（ペン設定ドロワー）



ペン設定ドロワー（カラー・太さ・プレビュー）

こんな時に使う

注釈の種類や重要度に応じて、色や太さを使い分けたいとき。

こんな悩みに

「毎回同じ色・太さでは意図が伝わらない」という悩みに。ツールごとに個別の設定を保持できます。

使い方

- 1 ステータスバーのツール設定ボタン（選択中ツールのアイコン）を開く
- 2 12色のプリセットパレットから色を選ぶ
- 3 スライダーまたは数値入力で太さ（1～30px）を調整し、プレビューで確認

色・太さと選択中のツールはツールごとに個別保持され、次回起動時も自動的に復元されます（プリセット12色以外のカスタムカラーは今後実装予定）

注釈を消す（削除）

こんな時に使う

間違えた注釈や、不要になった注釈を取り除きたいとき。

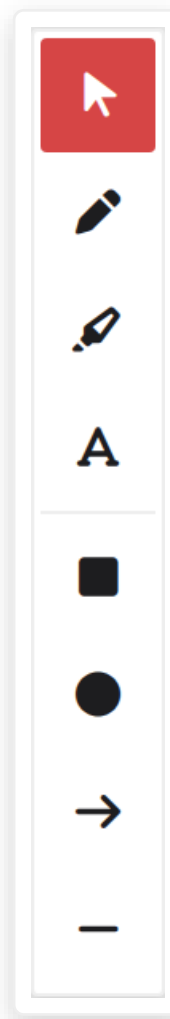
こんな悩みに

「一度描いたら消せない」という不安に。選択するだけで、すぐに削除できます。

使い方

- 1 選択ツールで削除したい注釈をクリックする
- 2 選択枠右上に表示される削除ボタンをクリックする
- 3 または Delete / Backspace キーでも削除できる

クリックするだけで消せる専用の消しゴムツールは今後実装予定です（現在は選択＋削除で代替）



選択ツールで対象を選び、削除ボタンまたはキー操作で消去

■ 04 — SECTION

注釈管理

描いた注釈を、思いどおりに操作・保護するための機能。

Undo / Redo（元に戻す・やり直す）

こんな時に使う

描画中に間違えた操作を取り消したり、取り消した操作をやり直したりしたいとき。

こんな悩みに

「間違えたらすぐに直せないとストレス」という悩みに。1操作ごとに記録され、瞬時に戻せます。



ステータスバー左端の Undo / Redo ボタン

使い方

- 1 Ctrl + Z で直前の操作を取り消す（Undo）
- 2 Ctrl + Y または Ctrl+Shift+Z でやり直す（Redo）
- 3 履歴はページ別に管理され、ページを移動しても保持される

描画のたびに自動で履歴が記録されます（手動での保存操作は不要、履歴の上限はページごとに50世代）

注釈の表示・非表示



注釈を非表示にした状態（データは保持されたまま）

こんな時に使う

注釈を一時的に隠して、元のPDFの内容だけを確認したいとき。

こんな悩みに

「注釈が重なって原本の文字が読めない」という悩みに。ワンクリックで注釈だけを隠せます。

使い方

- 1 ステータスバーの目のアイコンをクリックする
- 2 注釈キャンバス全体が非表示になる
- 3 もう一度クリックすると、元の状態がそのまま復元される

非表示にしてもデータは削除されません。表示を戻せば元通りです

注釈のロック

こんな時に使う

完成した注釈を確認している最中に、誤って動かしたり消したりしたくないとき。

こんな悩みに

「うっかり触って注釈が崩れてしまう」という悩みに。表示したまま編集操作だけを止められます。

使い方

- 1 ステータスバーの鍵アイコンをクリックしてロックする
- 2 注釈は表示されたまま、描画・移動・削除が無効化される
- 3 ズーム・パン・ページ移動は通常どおり操作できる

再度クリックするとロックが解除され、編集モードに戻ります



ステータスバーの表示切替・ロックボタン

■ 05 — SECTION

セキュリティ・信頼性

"原本の真正性" を技術的に保証するための仕組み。土業・医療・教育の現場で重要です。

非破壊注釈の仕組みと .akpdf フォーマット

こんな時に使う

契約書や答案など、"原本が変わっていないこと" 自体を証明したい場面で。

こんな悩みに

「編集ツールを使うとPDFの真正性が失われる」という不安に。原本には一切書き込みません。

使い方

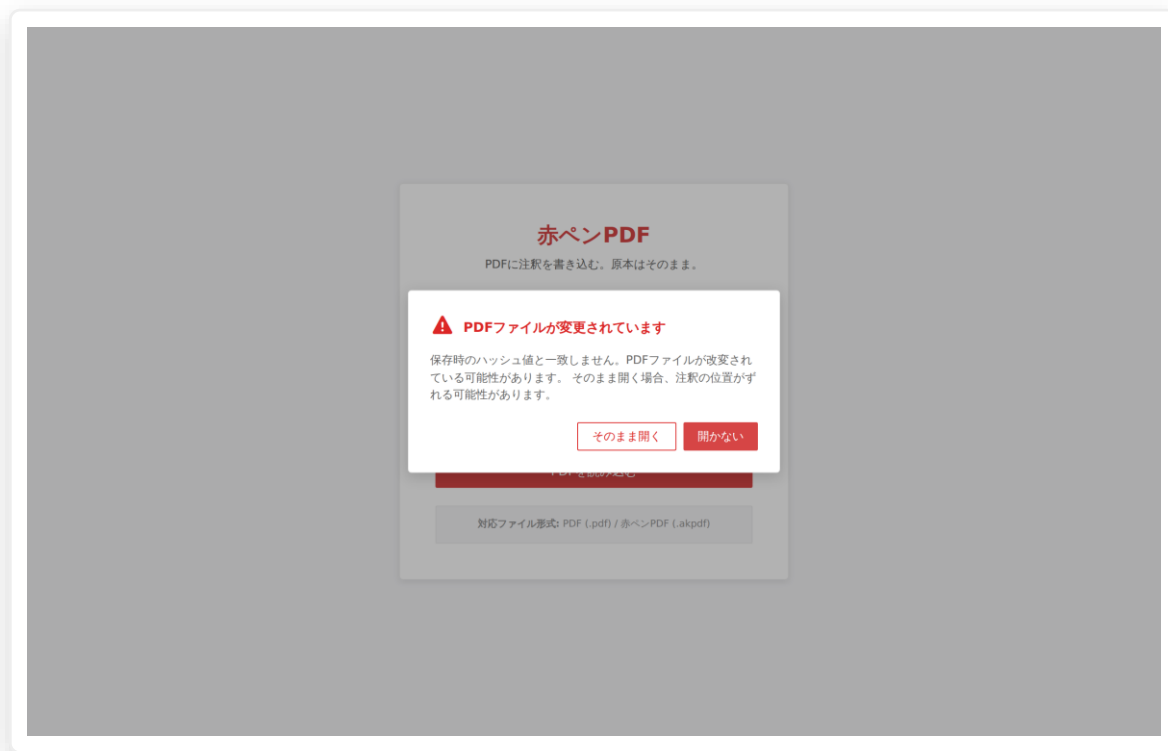
- 1 注釈はPDFではなく専用ファイル「.akpdf」（JSON形式）に保存される
- 2 .akpdf には元PDFのファイル名・SHA-256ハッシュ・ページ構成・注釈を記録
- 3 .akpdf を削除すれば、いつでも完全に元の状態へ戻せる

対象PDFの内容（テキスト・画像）自体の編集・抽出はできません（非破壊の原則）



PDFの上に注釈レイヤーを重ねて表示するイメージ

SHA-256による改ざん検知



ハッシュ不一致時に表示される警告ダイアログ

こんな時に使う

保存後に誰かがPDFを差し替えたり改変したりしていないか、確認したいとき。

こんな悩みに

「PDFが後から改ざんされても気づけない」という不安に。ハッシュの不一致を自動で警告します。

使い方

- 1 PDF初回読み込み時にSHA-256ハッシュを計算し .akpdf に記録
- 2 .akpdf 経由で再度開く際、対応PDFのハッシュを再計算して照合
- 3 不一致の場合は警告画面が表示され、開くか中止するか選べる

「そのまま開く」を選ぶと実ファイルのハッシュに更新して開きます。その状態で保存すると新しいハッシュが記録され、次回からは警告が出ません

ライセンス検証（Ed25519）

こんな時に使う

商用ライセンスが正規のものかどうかを、安全かつオフラインで確認したいとき。

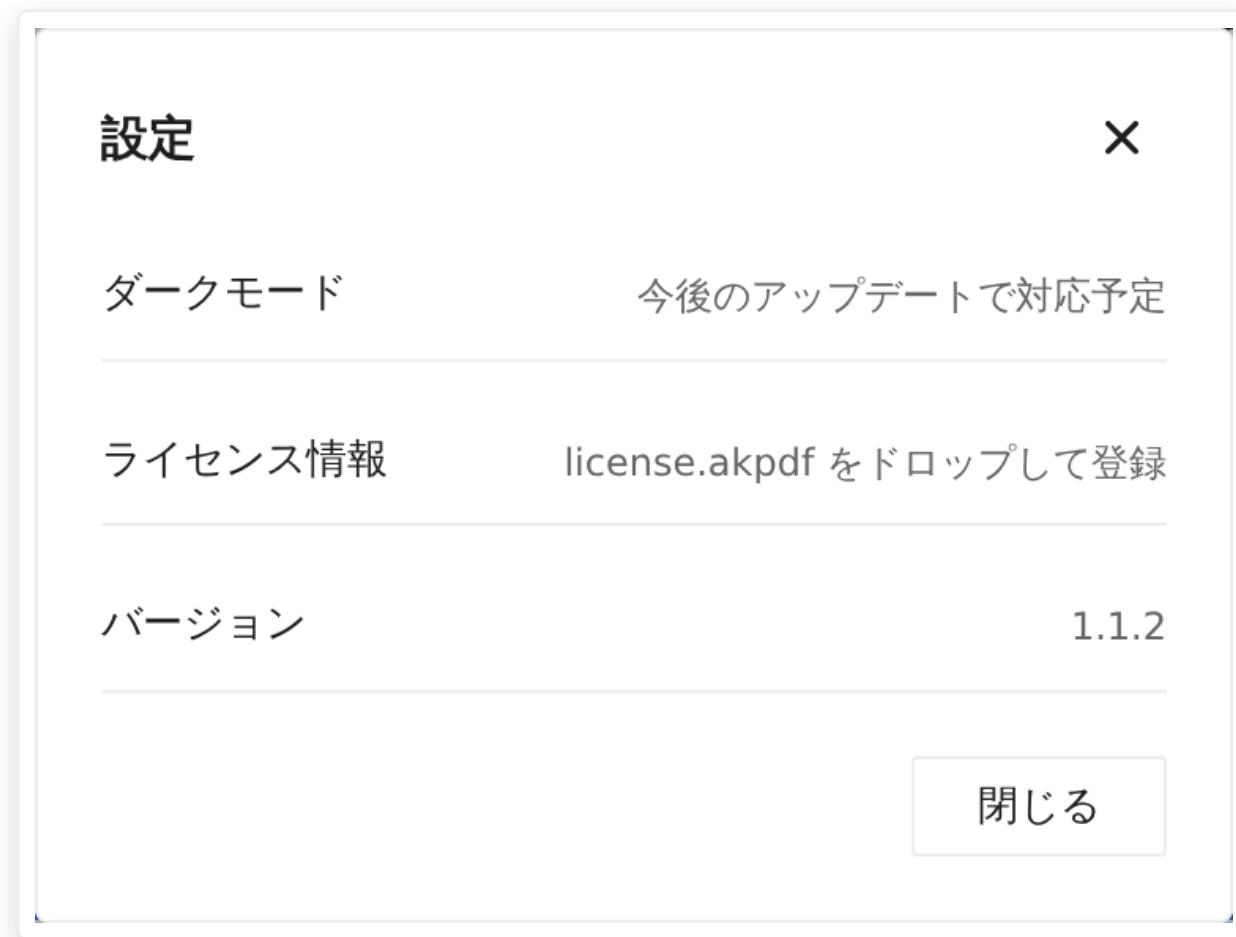
こんな悩みに

「不正なライセンスファイルで動いてしまわないか」という懸念に。署名で真正性を検証します。

使い方

- 1 アプリ起動時に license.akpdf を自動検証する
- 2 Ed25519署名により発行元の真正性と改ざんの有無を確認
- 3 発行日・有効期限も同時にチェックされる

ライセンスが無効・未登録でも全機能は利用可能です（バナーが表示されるのみ）



設定ダイアログのライセンス情報・バージョン表示

アンチデバッグなどのセキュリティ機構

こんな時に使う

ライセンス検証ロジックや鍵情報を保護するための、裏側で自動的に働く保護機能です（ユーザーが直接操作する機能ではありません）。

こんな悩みに

開発者側の「リバーズエンジニアリングで制限を回避されたくない」という要請に応える仕組みです。

使い方

- 1 リリースビルド起動時に、デバッガの接続を自動検出する
- 2 検出された場合、アプリは何も表示せずに終了する
- 3 ブラウザDevTools・右クリックメニュー・F12等のキー操作も無効化し、本番ビルドにはCSP（Content Security Policy）も設定

公開鍵は難読化してバイナリに埋め込み。Windows / macOS / Linux それぞれ専用の検出方式を実装

■ 06 — SECTION

操作性・設定

ショートカット・通知・アプリ設定など、日々の操作を快適にする仕組み。

キーボードショートカット一覧

主要な操作はショートカットキーからも実行できます。

操作	ショートカット	説明
保存	Ctrl + S	現在の注釈を .akpdf として保存する
元に戻す	Ctrl + Z	直前の描画操作を取り消す（Undo、上限50世代）
やり直す	Ctrl + Y / Ctrl + Shift + Z	取り消した操作をやり直す（Redo）
ページ移動	PageUp / PageDown	前後のページへ移動する
アプリ終了	Alt + F4	OS標準の終了操作（そのまま許可）

※ F1～F12・Ctrl+F・Ctrl+R・Escape・右クリックメニューは、ブラウザ機能の誤操作防止のため無効化されています

トースト通知

操作結果を画面右上に一時的に表示する通知です。3秒で自動的に消えます（閉じるボタンで即座に消すことも可能）。「今の操作は成功した？失敗した？」がひと目で分かります。



成功 (success) 警告 (warning) エラー (error)

操作	種別	メッセージ
保存完了	success	「保存しました」
保存失敗	error	「保存に失敗しました」
エクスポート完了	success	「エクスポートしました」
エクスポート失敗	error	「エクスポートに失敗しました」
注釈のあるページが0件	warning	「注釈のあるページがありません」
非対応の拡張子を選択	warning	「PDF または 赤ペンPDF ファイルを選択してください」
ライセンス検証失敗	error	「ライセンスファイルの読み込みに失敗しました」
ライセンス登録成功	success	「ライセンスを登録しました」（画面再読み込み後に表示）

アプリ設定ダイアログ

こんな時に使う

ライセンスの登録状態や、今使っているアプリのバージョンを確認したいとき。

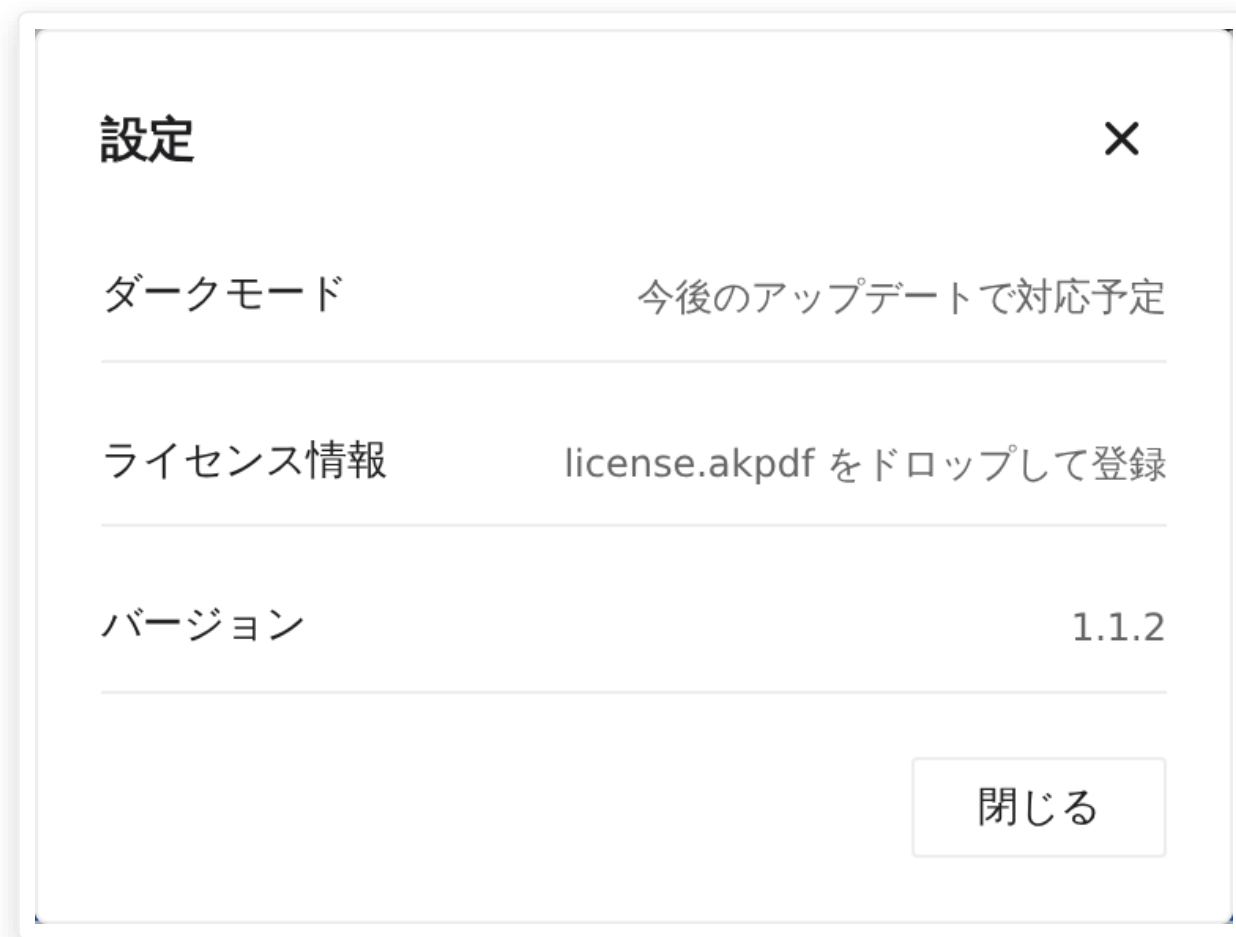
こんな悩みに

「今のバージョンやライセンス状態がすぐに分からない」という悩みに。設定画面に集約されています。

使い方

- 1 ステータスバー右端の歯車アイコンをクリックする
- 2 ライセンス情報・バージョン・ダークモード対応状況を確認する
- 3 license.akpdf をここへドラッグ&ドロップして登録することも可能

ダークモードは項目のみ表示中で、対応は今後のアップデートを予定しています



アプリ設定ダイアログ

■ 07 — SECTION

ライセンス・料金

個人・学習目的は無料。商用利用は買い切りライセンス。

料金プランとライセンスの考え方

個人・学習目的

無料 無期限

個人利用および教育目的での使用が対象。機能制限は一切なく、全機能を無期限で利用できます。

商用利用

¥2,480 買い切り

ビジネス・法人・営利目的での使用が対象。一度の購入で永続利用可能です（現在、新規受付は一時停止中）。

✓ **無料版でも全機能が使える** 有料版との機能差はありません。無料版は「個人または学習目的」バナーが表示される点のみが異なります。

■ **クロスプラットフォームで1ライセンス** Windows版のライセンスを購入すれば、同じライセンスでmacOS版も使用できます。

📶 **認証も完全オフライン** ライセンスの登録・検証にインターネット接続は不要です（Ed25519署名によるローカル検証）。

■ 08 — SECTION

困ったときは

エラーメッセージの意味と対処法、そして今後追加される機能について。

トラブルシューティング

症状	原因・対処法
「PDFファイルが変更されています」と表示される	SHA-256ハッシュが不一致です。PDFが編集・差し替えされた可能性があります。元のPDFを使うか、新規に注釈を作成してください
「赤ペンPDFファイルが不正です」と表示される	.akpdf ファイルの内容が壊れているか、対応していない形式です
対応するPDFが見つからないとエラーになる	.akpdf と元のPDFは同じフォルダに配置する必要があります
ライセンス登録が反映されない	署名検証に失敗している可能性があります。ライセンスファイルの発行元・有効期限をご確認ください
Windowsでアプリが起動しない	WebView2 ランタイムが必要です（Windows 10/11では通常プリインストール済み）
macOSで「開発元を確認できない」と表示される	システム設定 → プライバシーとセキュリティ から「このまま開く」を選択してください

解決しない場合は、赤ペンPDF公式サイトのお問い合わせフォームからご連絡ください（<https://akapenpdf.com/contact>）

今後追加予定の機能

開発が進行中の機能です。現バージョン（v1.1.2）では未実装のため、必要な場合はご注意ください。



消しゴムツール

クリックで直接消せる専用ツール（現在は選択＋削除で代替可能）



スタンプ・署名機能

「承認済み」「要修正」などの定型スタンプを配置



ダークモード

UI全体のダークテーマ対応（設定画面に項目のみ表示中）



ピンチズーム

タッチデバイスでの2本指ズーム操作（Ctrl+ホイール等で代替可能）



検索結果のハイライト表示

ページ単位のジャンプ・件数表示は実装済み。ページ内の一致箇所強調は今後対応



エクスポート範囲指定

全ページ／範囲指定／注釈ありページのみ、から選択可能に（現在は全ページ出力）



注釈テンプレート（名前付き保存）

ツールごとの色・太さの保持は実装済み。名前付きプリセットの保存・呼び出しは今後対応



カスタムカラー

プリセット12色以外の任意色選択（現在は12色から選択）



赤ペンPDFで、原本はそのままに

ここまでの赤ペンPDFの全機能です。まずは無料版で、実際に使いながら確かめてみてください。

公式サイト：<https://akapenpdf.com> 初めての方は「赤ペンPDFの始め方」もご覧ください